

商工会青年部がCM大賞受賞 「しゃこちゃんが動き出す！」

地元の魅力をPRするCM作品の制作を競う青森朝日放送主催の「第10回ふるさと自慢わがまちCM大賞」でつがる市商工会青年部（奈良信幸部長）が制作した「つがる市遮光器土偶発動計画」が見事大賞に輝きました。

作品は、JR木造駅の高さ17mの遮光器土偶のモニュメントが動き出すという内容。CMには青年部のメンバーが出演し、企画から撮影、編集まで約半年かけて完成させました。

12月1日、制作に携わったメンバーの代表4人が市役所を訪れ、栄えある大賞受賞を福島市長に報告しました。4人は受賞の喜びや制作の苦労話などを披露。監督を務めた坂本憲彦さんは「遮光器土偶が動き出す所が見所。CMを見て少しでもつがる市にお客さんが来て観光に役立てれば」と話していました。受賞作品は今年東北6県で放映される予定です。



左から三橋輝規さん、坂本憲彦さん、福島市長、奈良信幸さん、岩川進也さん

つがる女性加工部の地産地消活動が「攻めの農林水産賞」受賞



優秀賞を受賞する竹内きよゑさん

農林水産の分野において「攻め」の姿勢で新たな試みや創意工夫で収益性をアップさせた県内の団体を表彰する「意欲溢れる攻めの農林水産賞」につがる女性加工部会（竹内きよゑ部長）が優秀賞を受賞しました。

同会は平成9年から地元の野菜を使った漬け物づくりに取り組み、年々販路を拡大し販売額も増加。地元の食材を使った漬け物や加工品による地場農産物の付加価値向上はもとより、世代を超えて愛される味への創意工夫で郷土料理の伝承に大きく寄与している点が評価されました。

11月12日、県総合社会教育センターで表彰を受けた竹内さんは「皆様のおかげだと心より感謝しています。後継者に技術を伝承しながら地産地消の拠点となるようさらにがんばります」とあいさつしました。

大盛況！つがる市農産物フェア

つがる市産の農産物や加工品などを販売する市農産物フェアが11月21日、木造体育センターで開催され、会場には約5000人の買い物客らが訪れました。

会場には、農協、産直施設、女性グループなどの団体が出店し、ナガイモ、ゴボウ、ハクサイなどの新鮮な野菜やドーナツ、もち、豆腐、味噌などさまざまな加工品が販売されていました。

また、多彩なイベントも行われ、つがーるちゃんとのじゃんけんゲームや豪華商品が当たる抽選会には、長蛇の列ができていました。また、つきたてのお餅の入ったおしるこや市産の野菜を使った豚汁がそれぞれ400食振る舞われ、来場者は地元の農産物の味を楽しんでいました。

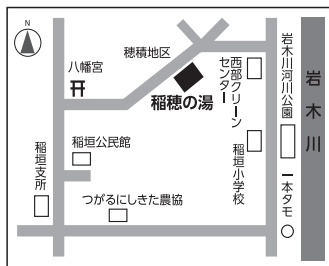


つがーるちゃんとのじゃんけんゲームは子どもたちに大人気

健康増進施設「稲穂の湯」 オープン

健康増進と交流促進を目的とした、つがる市健康増進施設「稲穂の湯」が12月24日、稲垣町穂積地区にオープンしました。営業時間等は下記のとおりです。お気軽にご利用ください。

- ◎入浴時間 午前8時から午後9時まで
(12月31日は午前8時から午後6時まで)
- ◎休日 毎月第4月曜日、1月1日
- ◎料金 12歳以上………320円
6歳以上12歳未満…150円
6歳未満………60円
回数券…10回分の料金で13枚
(イベント等特別時は15枚)
- ◎駐車場 大型2台、普通車34台
- ◎電話 0173-46-2020



越後谷君が全日本小学生相撲優勝大会で第3位



メダルをさげ賞状を手にする越後谷知樹君（中央）

第23回全日本小学生相撲優勝大会に青森県代表として出場した越後谷知樹君（瑞穂小6年）が、第3位の成績を収め、12月9日、市役所を訪れ福島市長に喜びを報告しました。

同大会は12月5日、東京・両国国技館で行われ、小学校6年生の部には全国各県から33人が出場。初戦から得意の押し相撲で勝ち進みましたが、準決勝で佐藤淳志君（石川県代表）を攻め切れず、押し出しで敗れました。

越後谷君は「優勝できなかったのは悔しかったけど、全国で3位になれたので良かった。中学校に行っても相撲を続けたい」と話していました。

災害犠牲者を出さない地域づくりを学ぶ

県と市が主催する防災シンポジウムが12月10日、生涯学習交流センター「松の館」で開催され、自治会や消防団、婦人防火クラブなどの防災関係者らが講演会やワークショップを通じて自然災害で犠牲者を出さない地域づくりについて学びました。

講演会には約200人が参加し、講師の片田敏孝群馬大学大学院教授が「犠牲者をゼロにするためには、行政主導の防災対応には限界がある。住民個々が自分や家族の命、地域の安全を守るという内発的な自助の意識を持つことが必要」と話していました。

ワークショップでは「災害に強い地域のあり方を考える」をテーマに参加者31人が4班に分かれ、災害時要援護者対策などについて話し合い「自治組織との連携」「普段からの声かけや見守りが必要」などの改善策が出され、地域防災への意識を高めていました。



グループ検討で意見交換するワークショップ参加者

スポーツを通して健康と交流を

市民スポーツ大会

今年度の市民スポーツ大会が10月から12月にかけて市内各地の運動施設で開催され、7競技（ニチレクボール、グラウンドゴルフ、ゲートボール、ソフトバレーボール、バドミントン、卓球、バスケットボール）に約520人が参加しました。参加者たちはレクリエーションスポーツを通じて世代を超えての交流試合や白熱した試合を繰り広げ、心地よい汗を流し、親睦を深めていました。



ニチレクボール

稲垣体育館／10月16日(土)

第1位 もみじ 第2位 派立 第3位 青空・昔の若者

ソフトバレーボール

稲垣体育館、稲垣体育センター／10月24日(日)

●男女混合の部

- 第1位 シャコちゃん
- 第2位 チーム家調
- 第3位 いながきクラブ・つが〜るちゃん

●男子の部

- 第1位 男塾
- 第2位 チーム花田
- 第3位 ポケットティッシュ・稲中排球部

●女子の部

- 第1位 SYU-JI-ーズ
- 第2位 ミックス
- 第3位 森田クラブ・メロン倶楽部

●小学高学年の部

- 第1位 ストロベリー
- 第2位 穂波B
- 第3位 ポッキー・穂波A

●小学高学年の部

- 第1位 いながきドラゴン
- 第2位 穂波C
- 第3位 ファイトつがる



バドミントン

柏総合体育センター／10月31日(日)

●一般男子の部

- 第1位 葛西卓真&長谷川良之
- 第2位 葛西 裕&川浪 松衛
- 第3位 尾崎恭平&福田慎太郎

●一般女子の部

- 第1位 小笠原梢&高橋あかね
- 第2位 新岡加菜&蝦名弥佳子
- 第3位 岩佐菜穂子&高橋留美子

●初心者の部

- 第1位 竹鼻孝一&竹鼻 笑
- 第2位 神 勇&山谷亜矢子
- 第3位 栗林輝夫&外崎 誠

●中学生の部

- 第1位 木村綾香&三橋みずき
- 第2位 菊地留奈&石岡比奈
- 第3位 平田小春&田村望美





バスケットボール

木造中学校体育館／12月5日(日)

- 第1位 きらら
- 第2位 チームうの
- 第3位 マドリード
ヒラカワ事務器



ゲートボール

柏体育センター
多目的運動場
10月24日(日)

- 第1位 松田チーム
- 第2位 藤本松夫チーム
- 第3位 葛西チーム



グラウンドゴルフ

みどり公園／10月17日(日)

- 愛好者
 - 第1位 杉野森登志子
 - 第2位 黒滝 ミツ
 - 第3位 愛沢 尹昭
- 初心者
 - 第1位 柴谷 松雄
 - 第2位 川村 良子
 - 第3位 片山 徳明



卓球 穂波小学校体育館／11月14日(日)

- 小学生男子シングルス
 - 第1位 新岡 晃
 - 第2位 長谷川泰道
 - 第3位 長内大樹・木村光耀
- 小学生男子団体
 - 第1位 穂波B
 - 第2位 穂波A
 - 第3位 瑞穂B・向陽A
- 小学生女子シングルス
 - 第1位 今岡利佳
 - 第2位 京谷愛希
 - 第3位 豊沢日乃梨・山本玲可
- 小学校女子団体
 - 第1位 向陽A
 - 第2位 穂波A
 - 第3位 穂波B・瑞穂A

- 一般シングルス
 - 第1位 山本
 - 第2位 藤本
 - 第3位 白川・生田

- 一般ダブルス
 - 第1位 藤本&工藤
 - 第2位 白川&松本
 - 第3位 山本&斉藤
新岡&一戸

- 一般団体
 - 第1位 悟空クラブA
 - 第2位 悟空クラブB
 - 第3位 卓球協会
木造中学校

- ラージボール男子シングルス
 - 第1位 山内富裕
 - 第2位 藤田節男
 - 第3位 山谷長七
- ラージボール女子シングルス
 - 第1位 米谷隆子
 - 第2位 木村協子
 - 第3位 石岡和子
- ラージボールダブルス
 - 第1位 山内&成田
 - 第2位 藤田&米谷
 - 第3位 山谷&木村
- ラージボール団体
 - 第1位 木造卓球倶楽部A
 - 第2位 フレンドパーク
 - 第3位 木造卓球倶楽部B



五穀豊穡願い三十三俵奉納

12月19日、筒木坂老人クラブ（三橋又四郎会長）が、新年の五穀豊穡と無病息災を祈願し、三十三俵としめ縄を大山祇神社に奉納しました。

同老人クラブでは、平成8年以来、鳥居型の三十三俵としめ縄を毎年製作し奉納を続けています。俵は稲わら、しめ縄はスゲ草を使って老人クラブの有志8人が12月1日から製作を始め、毎日作業に取り組み完成させました。会員の三橋幸夫さんは「皆で力を合わせて作りました。無事奉納できてほっとしている。新しい年が皆さんにとっていい年であるよう祈って奉納しました」と話していました。

地域の交流を図るもちつき会

航空自衛隊及び米軍と地域の交流を図ろうと12月15日、車力分屯基地内でもちつき会が行われ、自衛隊員、近隣町内会、基地協力会など関係者約100人が参加しました。

井上伸康基地司令は「もちつき会で皆さんとの気持ちと絆を深め、新年に向けて英気を養い楽しんでください」とあいさつ。もちつきでは、クーリー上級曹長や基地協力会の毛内純一会長らが力強く餅をつき、また綱引きを行うなど交流を深めていました。

午後には自衛隊と米軍の関係者がゆうあいの里と安住の里へ慰問に訪れ、出来上がったばかりのもちを贈りました。



地元大豆で豆腐作り教室

地産地消と食の大切さを学んでもらおうと市食育推進応援隊(原田ひとみ代表)が12月8日、豆腐作り教室を松の館で開催しました。

同教室には約30名の市民が参加し、つがる市ViCウーマンの会(工藤育江会長)の指導のもと、市産の大豆を使って豆腐作りを学びました。参加者はお互いに協力しながら木綿豆腐と寄せ豆腐を完成させ、ViCウーマンの会が作ったおかからのがんもどきとともに試食し、出来栄えに満足していました。

参加者は家でも豆腐作りを挑戦したいと口々に話していました。

税金の大切さを学ぶ

税金の意義や役割を正しく理解してもらおうと五所川原租税教室推進協議会(木下賢会長)が12月7日、穂波小学校(松田和信校長)の6年生40人を対象として税金教室を行いました。

教室では市税務課職員が講師となり、火事の時やゴミ処理、道路などについて、税金がなくなると、どれくらい大変なことになるかをビデオやクイズを通して学びました。もし税金がなかったら小学校の授業料が1カ月約7万円になると聞いて全員びっくりしていました。

児童は「税金が大切なものだわかった。世界中に税金があることも知れて良かった」と感想を話していました。



学校給食に「つがーるちゃん豚汁」登場

市栄養教諭・学校栄養士部会は、地産地消を進めるため、11月を「ふるさと産品給食の日」期間として、市のマスコットキャラクターにちなんだ「つがーるちゃん豚汁」を学校給食のメニューに取り入れました。

豚汁の具は、市ブランド農産物のナガイモ、ゴボウ、ネギなどを使用。11月18日から26日にかけて市内全小中学校の生徒児童が味わいました。車力小学校の秋田谷優那さん（3年）は「いろいろなつがるブランドの野菜が入っていておいしかった」とおかわりをしていました。



小学生が熱戦！ドッジボール大会

スポーツを通じた体力づくり、仲間づくりを図り、市内小学生相互の交流を深めようと11月27日、稲垣体育館・体育センターで第3回つがる市小学生ドッジボール大会が開催され、市内小学校8チームが参加し熱戦が繰り広げられました。

開会式では稲垣西小学校6年の豊川駿君が選手宣誓し、男子の部、男女混合の部各4チームに分かれ総当たり戦が行われました。保護者の応援も熱を帯び、白熱した試合の結果、男子の部は「戦えドッジマン」（稲垣小学校）、混合の部は「稲西ファイターズ」（稲垣西小学校）がそれぞれ優勝を飾りました。



育成小児童が車イスを寄贈

育成小学校（石岡誠子校長）児童が、空き缶のプルタブ回収により車イスを購入し、グループホーム「ぬくもりの家」に寄贈しました。同校では10年前にプルタブ回収を始め、こつこつと貯めた結果、約160万個（約800kg・ドラム缶9個分）となり、この度、車イス1台を購入することができました。

12月7日、児童会の代表6人が「ぬくもりの家」を訪れ、6年生の奈良直人君が「10年間かけて集めました。どうぞ利用してください」と車イスを贈呈しました。受け取った伝法谷良二施設長は「皆さんの長年の継続に感謝します。大事に使わせていただきます」とお礼を述べました。



生演奏でクリスマス気分を満喫

来院している患者へ季節の催し物を通してあたたかい雰囲気味わってもらおうと12月6日「第10回クリスマス・ロビーコンサート」が成人病センターで行われました。

サンタクロースの衣装を身にまとった病院職員によるバンド「ズボンスターズ」（冬にズボン下をはいて風邪を引かないようにと命名）が登場すると、会場から大きな拍子が起こり、披露されたクリスマスソングや演歌などを聞き入り、クリスマス気分を満喫しました。

また、クリスマスプレゼントとしてボールペンが配られるなど、楽しいひとときを過ごしていました。